



学校防災だより

泡瀬特別支援学校
安全指導係
平成28年9月
(No. 2)

備えあれば、憂い無し！

日本列島様々な場所で、地震や落雷、竜巻、台風など災害に関するニュースが連日報道されています。自分たちは大丈夫、と書いていても、いつ、どこで、どんな状況がおこるかわからないのが自然災害の怖いところです。

いざというときに備え、知っておいた方が良いことは・・・。
そこで今回は、夏季休業期間中に実施された職員、保護者を対象に実施された防災に関する研修会の様子を紹介します。

【研修①救急法】

7月25、26、27日に小中自立活動室にて沖縄市消防本部より講師を招き、救急法の研修会を実施しました。5～6名ぐらいつのグループを作り救命処置の手順（心肺蘇生法とAEDの使用手順）について、みんな真剣なまなざしで研修を進めていました。



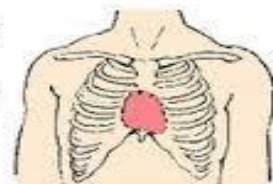
基本的な流れ

倒れている人を見つけたら

- ①反応の確認
- ②119番通報とAEDの要請
- ③心臓マッサージ開始
- ④AEDの使用
- ⑤心臓マッサージ、人工呼吸の繰り返し



圧迫する位置
胸骨の中央下部
3分の1のところ
を圧迫する



手の組み方
利き手が下になる
ようにして、手の
ひらの手首に近い
部分を当てて、
しっかり押すこと
が重要です。

AED 使用のポイント！



あせらないこと

音声指示を
しっかり聞くこと



初めての人も安心して操作できます



★みなさん、学校のどこに AED が設置されているかご存じですか？



AED は、**保健室**に設置されています！

保健室前を通った際、どこにあるのかな？と
今一度ご確認下さいね！



ココ

保健室前には
ストレッチャーや車いすも
用意されています！

救急法の感想 一部抜粋

- ・毎年この研修を受けているが万が一の事態に、落ち着いて対応できるという自信に繋がります。今後も救急法について研修受けていきたいと思えます
- ・乳幼児の救命処置を初めて習いました。本校の子どもたちは中高生でも身体が小さな子たちが多いのでとても参考になりました。



乳幼児の気道異物の除去について実技の伝達

身近にあるものをうまく活用し、 手軽で簡単にできるワザに挑戦！！

8月8日に沖縄市役所健康福祉部高齢福祉課、NPO 法人防災サポート沖縄より講師を招き、徒手搬送の研修が行われた。Tシャツやゴミ袋など身近な物を活用し手軽に応急担架を作成することができ、搬送方法を体験。災害への備えの大切さを再認識することができた！



担架のシート部分になんとTシャツが使える！



ほうき は担架の柄
に代用できる！



Tシャツやゴミ袋を活用した担架を体験中！



負担を軽減した搬送の方法

沖縄タイムス 2016年8月10日 に記事が掲載されました。あわせてご覧になって下さいね。

【研修③ 講演会「学校防災システムを活用した地震・津波時の避難体制づくり」



8月29日に県立総合教育センターにて岩手大学の森本晋也 准教授より「東日本大震災を生き抜いた子どもたち～そこから学ぶ防災教育～」というテーマで講演会が行われた。自然災害に対する本校の現状と課題を再度見つめ直し、予期せぬ災害時に対応できる能力や防災意識を高めることができた。

家庭でも避難方法などについてぜひ話題に取り上げてみて下さいね。

おしらせ

9月7日（水）に火災避難訓練が予定されています。